



CONTENTS

特集	新しさも歴史も 景観の中に築かれて	1
第16回	福岡市都市景観賞受賞作品	7
第6回	福岡市景観エッセー	11
	福岡市の景観に対する市民の意識調査の結果	13
	都市景観室事業・編集後記	14

新しさも歴史も 景観の中に築かれて

福岡市西区のマリノアシティにそびえ立つ巨大な観覧車。
その足元には人々が賑わうショッピングモールが広がる。
でもちよつと足を伸ばして探索すれば、古い寺や町屋が並ぶ
呼吸の緩かしい街割が散く。

景観は生きている。だから、季節が移り変わることに、年月を重ねることに、その表情を変えていく。
産声を上げたばかりの景観は、まちの中に初々しさと新鮮な空気を運んでくれるだろう。数年の時を経た景観は、活気と賑やかしさに包まれ、さらに年月を重ねれば温もりと親しみある雰囲気を出し出す。そして世紀を越えて、わたしたちも知らない時代を見てきた景観は、静かに歴史を語り継ぎ威厳ある姿で行む。

ふと立ち止まり、福岡のまちを眺めてみる。新しいビルの合間に見える、緑に囲まれた小さな鳥居。ガラス壁のビルを背景にそびえるレトロな赤レンガの建物。車が行き交う大通りを「本人」た路地に続く昔ながらの商店街。時代の違う景観が混沌と存在し、不思議とそれはしっくりとおさまっている。景観を眺めるものに、元氣や穏やかさや懐かしさ、さまざまな感情を呼び起こし、ワクワクと楽しい気分を体感させてくれる。